

令和6年度 第1回買物公園エリアプラットフォーム会議 会議要旨

【開催日時】

令和6年5月10日（金） 18:30～20:50

【開催場所】

旭川市庁舎7階大会議室B

【会員参加者（敬称略）】

赤松 昌輝, 有馬 準, 上田 桂輔, 草野 常幸, 久保 竜弥, 近谷 岬, 佐藤 祐哉,
四戸 秀和, 須川 亜優, 鈴木 伸治, 高橋 遼太郎, 長尾 英次, 中田 崇太,
蜂須賀 咲来, 三浦 詩乃 (Web), 山田 直人, 旭川市

【会議資料】

- ・ 第1回 エリアプラットフォーム会議
- ・ グループ討議（滞在空間について）

【会議内容】

1 開会

2 議事

① 買物公園エリア未来ビジョン・社会実験（案）の概要について

- 進行役より、配付資料「第1回 エリアプラットフォーム会議」に基づき、買物公園エリア未来ビジョンについて説明。
- 事務局より、同資料に基づき、社会実験の概要について説明。
- 社会実験運営業務の受託業者より、議論の参考とするため、5月3日に開催された買物公園エリアプラットフォーム主催の勉強会「まちづくり School」の実施内容、また、他都市における社会実験の事例について説明。

② 滞在空間の設計・設置について <グループ討議>

- 社会実験運営業務の受託業者より、滞在空間の企画提案内容について説明。
- 進行役より、配付資料「グループ討議（滞在空間について）」に基づき、ディレクター陣により検討を進めている社会実験の全体コンセプト、キャッチフレーズ、タイトルの方向性について説明。
- 事務局より、同資料に基づき、滞在空間の設計・設置に関するスケジュールや予算規模等について説明。
- <グループ討議>
 - ・ ゾーンⅠ～Ⅳのグループに分かれて、各グループのディレクターを中心に、滞在空間の設計やデザイン等について議論し、意見をまとめて次のとおり発表した。

《ゾーンⅠ》

- ・ 食事や遊び、学習など、普段できなかったことができるような場所にしたい、
- ・ 昼と夜で異なる使い方ができるような場所にしたい。
- ・ 旭川の顔になるエリアとして、デザイン都市の取組を意識した仕掛けを作りたい。
- ・ 見通しを確保できるような設置物の設えにしたい。

《ゾーンⅡ》

- ・ 洋服やアートなど特色のあるお店が多いので、アーティスティックな要素をコンセプトにした場所にしたい。
- ・ 様々なイベントが週替わりで展開されるような場所にしたい。
- ・ 掲示板のような、視覚的に情報交換ができるモニュメントを設置したい。

《ゾーンⅢ》

- ・ 大きなテーブルを設置して、まちなかのリビングのような場所にしたい。
- ・ 市民と観光客がコミュニケーションできる空間を作り、まちの魅力を紹介したり、情報を共有したりできるような場所にしたい。

《ゾーンⅣ》

- ・ 文化的な雰囲気や自然との距離感を生かした空間を作りたい。
 - ・ 子どもたちが遊べる場所を設けたり、一人でも心地よく過ごせる空間を提供したり、初めての人でも楽しめるような場所にしたい。
 - ・ つな木のような、組替えや移動が自由にできる設置物を作りたい。
- 各グループの発表に対して、参加者から、次のような意見があった。
 - ・ 社会実験の実施により、経済への波及効果が期待されるが、実際に何をやるのか、商店街の方々に情報が行き渡っていないようなので、商店街の方々を巻き込んで、商店街の利益が上がるような形で実施する必要がある。
 - ・ 社会実験の案の段階から、道路管理者や交通管理者との協議を進めていく必要がある。
 - ・ 社会実験にどれだけ多くの人に関われるかがポイントだと思う。個人レベルの関わりや、今まで買物公園に関わってこなかった企業、そしてまちの担い手である商店街の理解を得ることが大事なことだと思う。
 - ・ 社会実験の仕組みをどうやって日常に落とし込んでいくか、見極められるような形になるのが理想である。日本初の歩行者専用道路として、ここでしかできない取組を実施し、日本全国に発信できるような社会実験になると良い。

③ 電動モビリティの運行について

- 事務局及び社会実験運営業務の受託業者より、電動モビリティの運行内容について説明。

④ 次回の会議について

- 事務局より、次回会議の日程や議事内容等について案内。

3 閉会